

火薬庫工事設計明細書（ 級火薬庫）

1. 火薬庫の位置及び付近の状況は、別図による。

2. 保安物件との距離

(1) 最大貯蔵量（規則第20条第2項の規定を計算式で明示すること。）

$$\text{爆薬庫} \quad \frac{(\quad)}{40} + \frac{(\quad)}{80} + \frac{(\quad)}{\quad} + \dots \quad \div (\quad) \leq 1$$

$$\text{火工品庫} \quad \frac{(\quad)}{40,000,000} + \frac{(\quad)}{\quad} + \frac{(\quad)}{\quad} + \dots \quad \div (\quad) \leq 1$$

(2) 爆薬換算による貯蔵量（規則第1条の6の規定を計算式で明示すること。）

$$\text{爆薬庫} \quad \frac{(\quad)}{1} + \frac{(\quad)}{2} + \frac{(\quad)}{\quad} + \dots \quad \div (\quad) \text{ト}$$

$$\text{火工品庫} \quad \frac{(\quad)}{1,000,000} + \frac{(\quad)}{\quad} + \frac{(\quad)}{\quad} + \dots \quad \div (\quad) \text{ト}$$

(3) 爆薬庫又は火工品庫から保安物件までの保安距離は、下記の事項及び付近の状況図による。

保安物件の種類 (法定距離)	爆 薬 庫		火 工 品 庫	
	保安物件名	方角及び距離	保安物件名	方角及び距離
第 1 種 (m)				
第 2 種 (m)				
第 3 種 (m)				
第 4 種 (m)				

(注) 保安物件が当該事業用施設である場合又は土堤の高さが火薬庫の屋頂の高さの5/4倍以上の場合
は、当該保安物件に「事業用施設」又は「5/4倍の土堤」を併記すること。

3. 火薬庫の構造及び設備

(1) 火薬庫、土堤、避雷装置、防火設備及び警戒設備並びに警鳴装置等の全体設置計画は火薬庫施設設置図による。

(2) 火薬庫の構造等は、下記の事項並びに立体図、平面図、側面図、断面図、配筋図、基礎図及び小屋組図による。

項 目		爆 薬 庫	火 工 品 庫
構 造		平家建 (造り)	平家建 (造り)
壁の厚さ		() cm	() cm
盗難 防止 措置	設置場所	天 井 裏 ・ 屋 根	天 井 裏 ・ 屋 根
	種 類	金 網 ・ 有 刺 鉄 線	金 網 ・ 有 刺 鉄 線
	鉄線の直径	() cm 、 () 番線	() cm 、 () 番線
	網目の直径	() cm	() cm
小屋組及び屋根		木 造 ・ () 葺	木 造 ・ () 葺
基礎及び排水措置		別紙のとおり	別紙のとおり
備 考			

(3) 入口の2重扉、窓、床、通気孔の構造等は下記の事項並びに建具図及び設置図による。

項 目		爆 薬 庫	火 工 品 庫		
内扉	構 造	木製（1本引・2本引）	木製（1本引・2本引）		
	錠の種類				
外扉 (耐火扉)	本 体	構 造	鉄板製（1本引・2本引・片開・両開）	鉄板製（1本引・2本引・片開・両開）	
		寸法(mm)	幅() 高() 厚() 見込()	幅() 高() 厚() 見込()	
		補強用アングル(mm)	縦() 横() 厚()	縦() 横() 厚()	
		合わせ目	隙間()mm 目隠し()mm	隙間()mm 目隠し()mm	
	蝶 番	種 類	角蝶番	角蝶番	
		長さ及び数	()mm ()カ所	()mm ()カ所	
		心棒が抜けない加工措置			
	ロッ ト 棒	取付箇所	蝶番側の扉側面	蝶番側の扉側面	
		取付数	上部()本、下部()本	上部()本、下部()本	
		直径及び材質	()mm 炭素鋼	()mm 炭素鋼	
		長さ及び取付寸法	()mm 電気溶接	()mm 電気溶接	
	扉枠の固定方法				
	錠	種 類	面付レシーバー・タンプラー本錠・シリンダー本錠(面付・堀込)	面付レシーバー・タンプラー本錠・シリンダー本錠(面付・堀込)	
		デット ボルト	材質	ステンレス鋼・焼入炭素鋼	ステンレス鋼・焼入炭素鋼
			長さ	()cm	()cm
かんぬきの鉄棒		直径()mm 長さ()mm	直径()mm 長さ()mm		
窓	高さ及び数	地盤面から()m ()箇所	地盤面から()m ()箇所		
	鉄 棒	直径()mm 間隔()mm	直径()mm 間隔()mm		
	内 方	引戸に不透明ガラスを使用する。	引戸に不透明ガラスを使用する。		
	外 方 防 火 扉	構 造	鉄板製（1本引・2本引・片開・両開）	鉄板製（1本引・2本引・片開・両開）	
		寸法(mm)	幅() 高() 厚()	幅() 高() 厚()	
		蝶 番	種類	角蝶番・()ヶ所	角蝶番・()ヶ所
			取付方法		
外から開かない措置					
床の高さ		地盤面から()cm	地盤面から()cm		
内面の板張り		床面に鉄類を表さない。	床面に鉄類を表さない。		
通 気 孔	幅及び数	()cm ()カ所	()cm ()カ所		
	金 網	鉄線の直径	()mm ()番線	()mm ()番線	
		網目の直径	()cm	()cm	
鉄棒(幅20cm以上の場合)		直径()mm 間隔()mm	直径()mm 間隔()mm		
換気孔の取付数		天井()個、両つま(各個)	天井()個、両つま(各個)		

(4) 土堤の構造等は、下記の事項並びに正面図、平面図、断面図及び施設設備図による。

項 目	爆 薬 庫	火 工 品 庫
堤脚から外壁までの距離	()m	()m
勾配及び高さ	()度 屋頂以上()m	()度 屋頂以上()m
頂部の厚さ及び堤面の覆い	()m ()	()m ()
堤脚の土留の高さ及び材料	()m ()	()m ()

(5) 避雷装置の構造等は、下記の事項並びに配置配線図及び火薬庫保護範囲図による。

項 目		爆 薬 庫	火 工 品 庫
型 式		避雷針 ・ 架空地線	避雷針 ・ 架空地線
設置場所及び高さ		() ・ 上端から()cm	() ・ 上端から()cm
突針又は 架空線	直径・長さ・断面積	()mm ()mm ()mm ²	()mm ()mm ()mm ²
	材質及び抵抗	() ()オーム	() ()オーム
避雷電線 及び支線	断面積・長さ	()mm ² ()mm	()mm ² ()mm
	材質及び抵抗	() ()オーム	() ()オーム
接地電極	直径・長さ	()mm ()mm	()mm ()mm
	材質及び抵抗	() ()オーム	() ()オーム

(6) 警鳴装置の構造等は、下記の事項並びに電気配線図、仕様書及び設置図による。

項 目		警 鳴 を 発 す る 装 置	警 報 を 発 す る 装 置	
メーカー及び型式				
設置場所		火薬庫の外壁・付近 ()	火薬庫の外壁・付近 ()	
本 体	外 函	鉄板製、厚さ()mm	鉄板製、厚さ()mm	
	錠の種類			
	開口 部の 防護 措置	雨・雪の進入		
		虫類の進入		
		回路の外部接触		
警報器	種類	サイレン・ブザー・スピーカー・ベル	サイレン・ブザー・スピーカー・ベル	
	警報等の始動及び音量	扉（開放・振動）()デシベル	扉（開放・振動）()デシベル	
回 路	庫内電流	爆薬庫()A 火工品庫()mA		
	切断対策	警鳴を発する・金属管で保護	警鳴を発する・金属管で保護	
	保安装置	避雷器・ヒューズ()mA	避雷器・ヒューズ()mA	
	テスト装置	スイッチ式	スイッチ式	
電 源	電池（電圧の消耗状況）	メーター・表示灯	メーター・表示灯	
	交流（停電時の措置）	予備電池に自動切り替え	予備電池に自動切り替え	

(7) 暖房設備、庫内照明設備、防火設備及び警戒設備は、下記事項並びに配置配線図及び施設設置図による。

項 目		爆 薬 庫	火 工 品 庫
暖房設備		有（温水式） ・ 無	有（温水式） ・ 無
庫内 照明 設備	電 燈	防爆式	防爆式
	配線工事の種類	金属管・がい装ケーブル	金属管・がい装ケーブル
	自動遮断器又は開閉器	庫外設置	庫外設置
防火 設備	防火用空地	幅()m	幅()m
	貯水槽	()トン ()槽	()トン ()槽
警戒 設備	警戒札の種類		
	夜間点灯装置	有（施工図及び設置図による）・無	有（施工図及び設置図による）・無

4. 貯蔵上の取り扱い

(1) 最高最低寒暖計を爆薬庫内に設置する。

(2) 火薬類の貯蔵は、下記の事項及び別図による。

火薬類の最大貯蔵量（外装の寸法による計算式を明示すること。）

爆薬庫

火工品庫

(3) その他の取扱いは、火薬類取締法施行規則第21条の規定による。

5. 年間貯蔵予定量

爆薬庫（ ）トン + 火工品庫（ ）トン = （ ）トン

6. 火薬類取扱保安責任者の選任予定（保安手帳持参）

区 分	氏 名（年 齢）	免 状 の 種 類	保安手帳番号
取扱保安責任者	（ ）	（ ）種取扱免状	
同代理者	（ ）	（ ）種取扱免状	
同副責任者	（ ）	（ ）種取扱免状	

選任届書は、火薬庫完成検査申請書と同時に提出します。

7. 火薬庫竣工予定

平成 年 月 旬